

## 2014年4月7日 「全国責任者会議報告」 石川祐司教会長

今日は「全国責任者会議」の報告でした。

### <全国責任者会議報告>

天暦3月2日（陽暦4月1日）午前11時から神奈川県川崎市にある宮崎台研修センターにおいて、全国責任者会議が開かれ、全国の牧会者ら約430人が集まりました。

3月に全国16の地区で行われた「VISION 2020 勝利のための出発決断式」を経て、全国の教会責任者が一堂に会し、改めて行われた集会となりました。

全体で天一国の歌を斉唱、周藤健・日本統一教会副会長の代表報告祈祷に続き、映像上映（3月19日にハワイで韓鶴子・世界平和統一家庭連合総裁がみ言を語られた時の映像）がありました。

徳野英治・日本統一教会会長のメッセージでは、参加者に慰労の言葉を述べた後、3月18日からのハワイ研修で、自身が最も印象に残った点を幾つか紹介されました。

日本からの研修会に参加した牧会者に対し、韓鶴子総裁が直接ハワイを案内され、日本の全教会員の代表として牧会者を愛される姿を通して、「私たち責任者は、食口（教会員）を愛さなければならない」と訴えました。

また、ある牧会者の証について触れながら、「生涯変わらない不変・不動の信仰で、真の父母様（文鮮明師ご夫妻）に侍り、母の国・日本の使命を果たしていきましょう！」と呼び掛けました。

宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長のメッセージでは、『天一国時代における「真なるリーダーシップ」を探して』というタイトルで、「リーダーシップ」について解説。「サーバント・リーダーシップとは？」などと問いかけながら、天一国時代のリーダーシップのモデルや役割などについて、参加者の正しい理解を促しました。

さらに、「リーダーは、信仰と道徳性を兼ね備えていなければいけない」と訴えると共に、これまでの受動的リーダーシップの改革を求め、最後、「責任者の皆様がリーダーシップのモデルとなったださり、食口もモデルとなっていけるようにしてください」と訴えました。

（中和新聞より転載）